

五色池通信

252 2005年6月2日発行

中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-9188

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>

6月19日(日)中土手で自然学校

10:00 ~ 2:00

弓矢で遊ぼう!

ザリガニを釣ろう!

リース・ミニヨシズを作ろう!

場所: 中土手 五色池(下図参照)

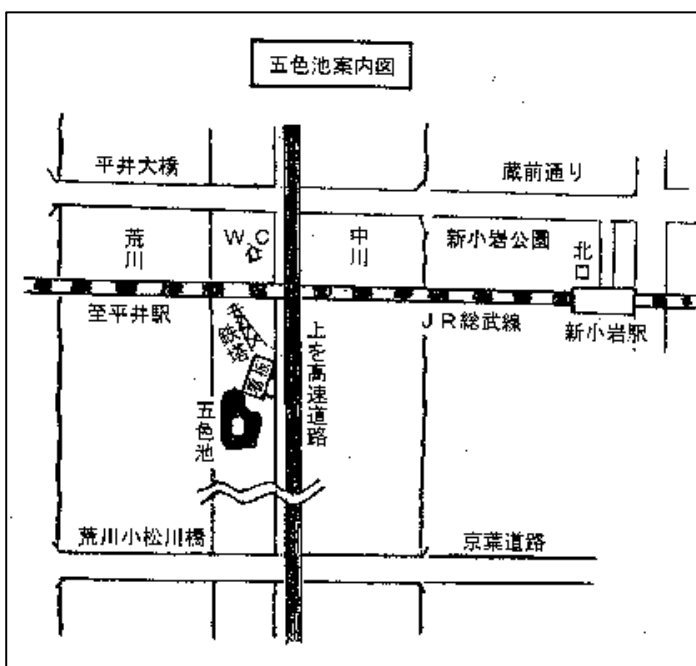
持ち物: おにぎり、トン汁の具、おわんとはし、水筒(飲み物)、よごれてもいい服とクツ、帽子



中土手に自然を戻す市民の会では、6月19日、えどがわエコセンターの自然学校を引き受けて実施します。中土手の五色池は、豊かな自然の中で、自然観察のほかにザリガニ釣り、ヨシぬのぞうり笛、ヨシズあみ、弓矢遊び、紙デッポウ、布草履作り、リース作りなど、いろんな遊びが楽しめます。遊びの中で、自然が好きになってゆきます。



アオイトトンボの交尾 上 下



問合せ・申込み 中土手に自然を戻す市民の会

3654-7240 Fax 03-3654-9188

江戸川区東小松川 3 - 3 5 - 1 3 - 2 0 4

楽しかった五色池春祭り

今年の五色池祭りは好天に恵まれ、去年は強風でキャンプを中止したのに比べ、ほぼすべての行事をこなすことができました。今回は、ホームページのほか江戸川区の広報にも紹介され、参加者は、一日だけの参加者を含めると合計61人でした。親子連れがほとんどですが、子どもだけの参加者もあり、大杉小4年生の3人はテントで泊まって2日間とうして参加しました。

竹炭作りは、4年目にしてほぼ完璧に出来上がりました。竹は、小川克己さんが、冬に切り出しておいた孟宗竹を当日朝に持参し、長さをそろえて切ってナタや斧で割りました。それをドラム缶の窯につめて、火をつけ、しばらく焚き口から火を燃やし、窯に火が回ったら空気口だけを残して中の竹の炭化を待ちます。煙突から出る煙がシロから青白く変わったら（その時煙の温度が上がり、マッチ棒をかざすと着火する）、空気口も閉じ、煙突もはずしてドラム缶をすっぽりと土で埋めてしまいます。こうして、約12時間、窯の温度が下がるのを待って、掘り出します。今回は、午後1時ころ掘り出したところ、中の炭は完全に炭化していました。焚き口の辺りが一部灰になっていたのは、焚き口を閉めるのが若干遅すぎたせいだろうと思われます。でも、去年は、生焼けの部分が半分ほどあったのに比べ、今回は全部炭化したので、一応成功であると確認しました。できた竹炭や竹酢液は、参加者がお土産に持ちけりました。

今回は春のクリーンエイドとして、参加者全員で、五色池の周りや河川敷道路などのゴミ拾い（＝クリーンエイド）を行ないました。次に、みんなで持ち寄った具を集めてトン汁を作り、お弁当を食べました。

午後は、思い思いの遊びですが、子どもたちや親子連れの人気はなんとと言ってもザリガニ釣り。とにかくおもしろいほどよく釣れます。釣れたザリガニを集めて塩茹でにしましたが、子どもたちも親たちも、かなりの驚きと抵抗もありました。し



ドラム缶に割った竹を整然と並べて詰め込む



出来上がった竹炭の窯だし。上と右

下はバウムクーヘン作り





竹炭の窯出しをしてみんなで記念撮影

かし、ザリガニがトンボのヤゴを食べてしまうので困っていると説明して理解してもらいました。そして、食べてみればおいしいこと請け合いです。

子どもたちは、炭焼きの焚き火の番をしながら、佐々木さんが持参したバウムクーヘン作りに挑戦していました。青竹の先にホットケーキミックスの水に練ったものを塗りつけて火にかざし、それが焼けたらまた塗って次第に太くしていくと、木の年輪のようなバウムクーヘンができました。

クズの根から作った葛粉で作るくずもち作りは、手順をちょっと間違っ、すこりぶつぶつができましたが、それでもあんこを包んで、葛餅らしいもの(?)ができました。

弓矢も人気があり、男子も女子も、セイタカアワダチソウやヨシの矢を遠くに向かって飛ばしていました。まさかりを使っの薪割りも男の子には人気があり、焚き火用の薪をたくさん作りしました。

大人たちでテントの設営に取り掛かると、強風のため五色池脇の広場での設営は困難と判断し、場所を代えて鉄塔近くのヨシ原の陰に当たる場所に4張り設置しました。

バーベキューは、当日帰る人を考慮して、かなり早くから始めました。牛のブロックの丸焼きから、焼けた部分を切り落として食べる本格的なバーベキューで、石川さんは大忙し。ご苦労様でした。

夜は、炭焼きの火の番をしながら、差し入れの高級ワインなどを傾けながら談笑し、最後のつわものは夜半の2時まででした。

翌5日午前中は、対岸の下平井干潟での投網体験

と、五色池広場でのミニヨシズと布草履^{そうり}作りの2手に別れました。投網は、石川さん・橋本さんと新八投網娘たち、そして子どもたちが参加。魚をたくさんとって帰りました。焼いて食べてみました。

昼食は、味噌汁と差し入れの五目御飯。竹炭を掘り出して完成を確認し、記念撮影をして解散しました。楽しかった五色池祭りでした。また来年もやりましょう。

(佐藤正兵)

以下は参加した子どもたちの感想です。

指でザリガニを釣り上げたヨ!

あきら

ゴールデンウィークの間に、春の五色池キャンプがあっ、友達と3人で行って来ました。行ってみるとさっそく竹わりが行なわれていました。ぼくは何をしているのかと思っ聞いてみると「竹炭を作る準備をしているんだよ」と教えてくれました。それはドラムカンに竹を入れて、ヨシを燃やしたりしました。

次に、ヨシの茎を利用して焼きマシュマロを作りました。ヨシにさしたマシュマロをたべると、そとはパリパリ、中はモチリしてっ、くせになりました。

ザリガニつりでは、ヨシのくきに糸を巻きつけてえさをつけてつるとじゃんじゃんつれてすごかったです。ぼくはぐうぜん水の中に指を突っ込んでいたら、ハサミでちょきっとはさまれたので、「わ!」といっしまいました。それで指を引いてつりあげました。大きさはハサミも入れて13cmほどありました。まるでザリガニ2ゆびつり大会



3人でお好み焼きを作っています

みたいでした。

よるになるとバーベキューをしました。ぐは肉、やさい、さかなでした。フランクフルトがいちばんおいしかったです。おもわず「おいしーい」といってしまいました。竹ずみの様子を見ながら、ゆっくりのんびりと食べました。

テントをはるのは大人がやって、子どもがテントを決めました。ぼくは3人用のテントがいいなと思っていると、さとうさんが6人用のテントをよいうしてくれました。ベランダがあり、こうきゅうホテルのへやみたいでした。そこに自分たちのにもつをおいてみました。そうすると、たんにんの先生がお菓子の差し入れをしにきてくれました。よるには、友だちとさんぼをしました。テントに入ってみんなでねました。

あさは4時おきでした。あさのお好み焼きのごはんはぜっぴんでした。たまねぎがやわらかくておいしかったです。

はしもと先生にたのんではんたいの岸につれて行ってもらいました。そこでは、とあみをして、カレイ、マルタ、ボラ、などの魚がとれました。合計で40匹ほどの魚が取れてうれしかったです。そこでもどりました。

お昼のごはんはみそしるで、みそのあじがすごくしみこんでいてぜっぴんでした。そして解散しました。

ぼくは、次に荒川に行ったときは、おいこみりょうをマスターしたいと思いました。やっぱり五色池キャンプはさいこうでした。また生きたいです。次はもっと友だちをつれて行きたいです。



バーベキューでは肉をいっぱい食べたよ

楽しい五色池キャンプ

こうせい

5月4、5日、春の五色池キャンプに、クラスの友だち3人でいっしょにいきました。ぼくは、前日からわくわくしてその日をまっていた。行く日になると、ぼくは、早くあら川に行きたいなと思いました。

あら川につくと、佐藤さんたちがいました。いちばん最初に竹を切ったりしました。その後にはザリガニつりなどで遊びました。遊びの中でいちばん楽しかったのは、ザリガニつりです。カニを釣っている人がいてすごいなと思いました。よるにはバーベキューをやりました。そしてテントを立ててねました。クビキリギスが「ジーーン」となっていました。

そして次の日、五色池の反対がわのひがたに行き、魚とりをしました。ぼくは魚をとろうと思っても1匹きもとれませんでした。そして五色池にもどって昼食を食べました。そして、お父さんが迎えに来て帰りました。また行きたいと思いました。



上:五色池のアオダイショウが姿をみせました
右:投網で取れたスズキはまな板の上

